

山口県立下関西高等学校 定時制

いきいき定時 1月号

関一第下天

ご挨拶が遅くなりましたが、本年もよろしくお願ひいたします。卒業を3月に控える4年生3名は、28日に学年末考査を終えたところです。出校日はあと数日となりましたが、下西定時制の生徒でいられる一日一日を大切に、社会に羽ばたいて行ってほしいと思います。

始業式

1月11日(火)3学期初日に行われた始業式では、山田校長先生が、式辞の中で、脳科学者のお話を引用され、「感情が表情に現れるというが、表情が感情を制御する場合もある。口角をあげた表情を心がければ、自分の人生をより楽しいものにできるのではないか。」というお話をされました。

教務主任の坂本先生は「4年間、働きながら学んできたということに誇りを持って堂々と胸を張って卒業してほしい。」と残り数か月、一層気持ちを引き締めて過ごすよう促されました。卒業すると、このような助言や叱咤激励を受ける機会はありません。3名の皆さんには、卒業まで、多くの経験を積まれてきた人生の大先輩であるすべての年長者の方々のお話を聞く機会を大切にしてほしいと思います。



成人激励式

同じく11日、成人激励式を行いました。定時制数校目の筆者にとっても初めての行事になります。2022年4月から民法の改正により成人年齢が18歳に引き下げられますが、従来、成人となる20歳を目前に卒業する生徒たちを激励するために行ってきた本校独自のイベントです。山田校長先生が「自分と関わってくれた全ての人への感謝の気持ちを忘れず、社会の期待に応えられる人になってください。」という激励の言葉をかけられました。杉野君、二田水君は、西高定時制の卒業生として誇りを胸に、責任を持って行動できる人間になるとそれぞれ自分の言葉で挨拶をしてくれました。一足先に激励式を終えている森君が優しい目で、二人の挨拶を聞いていたのがとても印象的でした。



調理実習

今回の食材は担当の川野先生がご実家のある宮崎県で購入された「宮崎牛」、写真のようにステーキになったようですね。在校生3名と少し寂しい1年だったかもしれませんが、人数が少ない分、大人数ではできない貴重な経験もたくさんできていますよ。今回もその一つになりましたね。“せっかく宮崎から宮崎牛持ってきたんやかい、宮崎牛食べていっきゃん”(テレビ番組からの引用ですが、川野先生、この宮崎弁合ってます?)皆さんはせっかくのお肉を自分好みに美味しく焼くことができましたか?



2・3月の主な予定

2/3(木)~7(月) 補講・追認考査

17(木) 市内3校合同予餞会 (実施は感染症の状況次第になります)

28(月) 卒業式予行(17:20登校)

3/1(火) 卒業式(9:00登校)